

年次報告書 2021

子どもたちの明日



年次報告書によせて

世界中でコロナ感染症の蔓延をはじめ、気候変動によるたび重なる自然災害、生物多様性の損失、貧困、地球資源の保護等々地球規模の課題が目の前に山積みとなっています。そのような状況の中、幼い難民を考える会が今年も何とか事業を続けて展開していくことができますのは、皆さまの会の活動に対するご理解と温かいご支援のおかげと心から深く感謝申し上げます。

この厳しい状況の中で暮らしている私たちは、世界が直面しているこのような課題を的確に理解し、幼い難民を考える会の課題に向き合い、カンボジアでの事業を更にカンボジアの社会に根付くしかりとしたものにしていきたいと考えています。カンボジア人が主体となってプノンペン事務所主動の事業の運営管理そのための資金集めにも力を入れていけるようこれからも日本から一緒に連携していきたいと思います。

2021 年度もカンボジアのそして世界の子どもたちが平和に安心して暮らせるような社会づくりを目指して皆さまとともに活動を進めていきたいと存じます。引き続き皆さまのお力添えを賜りたくなにとぞよろしくお願い申し上げます。



代表理事 関口 晴美

目次

年次報告書に寄せて・目次	2
2020 年度事業報告と 2021 年度事業計画	
Ⅰ カンボジア事業	3
1. カンボジア保育事業	
2. カンボジア織物事業	
3. 事業基盤の強化	
Ⅱ 日本国内事業	5
2020 年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会	
・ 2020 年度決算・監査報告書・2021 年度予算	7
・ 活動収支年度別推移表	9
幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体	
・ 2020 年度 補助金受け入れ先、寄付者、みんなで布チョッキン実施団体	10
わたしたちの組織	
・ 会員数、寄付者数、役員、職員、活動履歴	11

2020 年度事業報告と 2021 年度事業計画

Ⅰ カンボジア事業

1. カンボジア保育事業

1) 村の幼稚園

① 既存「村の幼稚園」9 園は、3 月 16 日以降全て休園したが、自宅で学習を続けられるように 7 月には教材を開発し、保育者が家庭を訪問。屋外で少人数の子どもに自宅で学習できる指導を行った。保護者にも子どもの宿題をみてあげられるようアドバイスを行った。8 月と 9 月には、各郡の幼児教育担当者と地区の女性と子ども事業担当が密を避けた学習指導の状況をモニタリングした。9 月中旬に幼稚園が再開し、10 月、11 月は流水での手洗い、マスク着用や席の間隔をあけるなど、感染防止に配慮しながら保育活動を行い、モニタリングも再開した。学年が 12 月まで延長されていたが、11 月に発生した市中感染を受け、11 月末で終業した。卒園式は開催できなかったが、卒園児童 163 名には保育者から卒業証書を手渡した。



② 新規に「村の幼稚園」をコンポンチュナン州内に 2 ヶ所開設した。開園に先立ち、保育者は CYK の新しい事務所に宿泊し、20 日間、集中して事前研修を受けた。園舎・トイレが 11 月末に完成し、12 月末には教室を飾り付け・備品を搬入、65 名の子どもが登録し、1 月に開園式が行われた。2021 年度は新たに 3 ヶ所の「村の幼稚園」を開設予定である。

③ 3 年間の支援が終了したプレイチュロウとプロスナップの 2 園は地域幼稚園のスタンダードに認定され、クランリブと合わせて、地域での自主運営に移管した。カンダール州に残っていたプラサートの 1 クラス、リアンチュウ、カオム・サムノルーの 3 園も地域幼稚園のスタンダードに認定された。2021 年度は 2 園または 3 園を地域幼稚園の





スタンダートに申請予定である。

④ 12月にコンポンチュナン州内で、2021年度開園候補地7ヶ所を視察した。

⑤ 日本企業のボランティアより、子ども用マスクの布823セットが寄贈された。カンボジアで縫製し、「村の幼稚園」の子どもに配布した。

2) 公立地域幼稚園との保育者研修、地域のネットワークづくり

2月に11ヶ所の幼稚園の保育者が集まり交流研修会を実施した。お互いに新しい幼稚園運営の方法や技術的な改善点について意見交換を行なった。

3) 地域や、他の機関・ひとへの支援

① 教材配布研修

8月25日から28日にかけて、コンポンチュナン州内の1市3郡の公立幼稚園の保育者に教材配布研修を行い、絵本・パズル・布遊具を96セット配布した。9月にはカンダール州内カンダールスタン郡の公立幼稚園41ヶ所に布遊具を配布した。1月にカンダール州で59ヶ所の公立および地域幼稚園に布人形236、布ボール590を配布した。

また、2019年に研修を行って教材を提供した幼稚園を訪問し、その後の活用状況を確認した。多くの保育者が教材の使い方を理解しており、子どもたちにも親しまれているが、一部、教員の交替などで使い方が引き継がれていない場所があったので、不明な部分について説明を行った。

② タケオ州の図書室の運営支援

トロピエンクラサン織物センターへの支援は6月で終了したが、敷地内で運営している図書室は保育支援事業として支援を継続している。毎週水曜と日曜に開室し、入り口にアルコール消毒液と石鹸を準備し、子どもたちに手洗いをした上で利用してもらった。図書係は物語を読み聞かせ、子ども自身でも読むように促した。塗り絵、折り紙、子音パズル、布遊具は子どもたちの好きな遊びで、感染拡大防止期間は本の貸し出しが増えた。2月24日には、国際読書の日を記念したイベントを開催し、本をよく読む子どもを表彰した。

③ 他の地域幼稚園建設支援

タノールターサイン村の地域幼稚園の園舎とトイレ建設に資金提供の要望があり、CYKで寄付者を探したところ、カンボジアの個人篤志家の寄付(\$5,350)を得て建設した。

④ ケマラから独立し自主運営中の2保育所に対し、休園中無給の保育者を支援するため、子どもに提供する予定だったお米を、寄付団体の了承を得た上で保育者に支給した。資金の目処がたたず、1ヶ所は閉園した。

⑤ 奨学金

コンポンチュナン州の保育者を志望する2名に奨学金の支給を継続し、ポン・スレイニさん（女性23歳）とベン・セラーさん（男性20歳）が公立幼稚園教員養成所に学んだ。大半がオンライン学習となったが、進級試験に合格し、勉強を継続している。2021年度は、卒業後、CYKの保育チームのスタッフとして、保育アドバイザーと一緒に「村の幼稚園」のモニタリングを実施するなど、継続して保育の能力を高めてゆく。

2. カンボジア織物事業

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、観光客への販売が見込めず、6月末でショップを閉店し、織物事業を終了した。すでに注文が入っていた受注品の納品は継続し、ABICメンバーの作った泥藍を日本へ販売、輸出協力を行った。



3. 事業基盤の強化

1) 体制

プノンペン事務所では、フルタイムスタッフ6名（TKセンタースタッフ含む）、パートタイムスタッフ2名で、保育事業と織物事業（6月まで）を実施した。保育アシスタントの不在が続き、保育調整員に仕事が集中しており、2021年度は保育に関心が高い職員を採用する予定である。首都では給料の高い仕事が見つかりやすいため、給与等待遇の見直しも必要となってきた。保育アドバイザーとして迎えた教育省幼児教育局の幼稚園担当を退官したオム・ソパニーさんは、カリキュラムの見直し・教材開発、州や郡との協働事業を積極的に推進した。2021年度は、子どもの集中力を高めながら教える能力を保育者が習得するよう個別に助言する予定である。

2) CYKに対する社会的関心、認知、支援の確保

カンボジアで資金調達ができるよう、日本企業の助成金を得て、組織基盤強化の研修を開始した。2021年度は助成金申請やオンラインでの募金活動などを実施する計画である。

▶ II 国内事業

1. 資金確保のための活動

1) 寄付・募金活動の実施

コロナ禍により対面での活動が制約されたため、ホームページに「蓮のつぼみ募金」を新設し、活動と必要な予算を具体的に紹介しながら寄付のお願いをしたほか、40周年記念号ニュースレター等の発行を通して、過去にご支援をいただいた方や退会された会員にも報告とお礼をし、久しぶりに連絡をくださった方、寄付をくださった方などがあった。

2) 助成金の活用

保育支援事業への助成金に加え、東京都のテレワーク助成金でノートパソコン4台を購入した。また、組織基盤強化のための助成金を得た。

2. 事務所の移転

8月から同じビル内でひとつ上の階に事務所をおく既知の国際NGOと事務所シェアを開始した。



3. 広報活動

1) ニュースレター

「子どもたちの明日」129号（5月）、130号（40周年記念号、1月）、2020年年度報告書（10月）を発行した。2021年度はカンボジアの人々の指向や文化にも触れながら、CYKが実施している活動を、保育者や地域のパートナーから得た情報を交えて記事にまとめ、ホームページやニュースレター等で発信してゆく。

2) 「みんなで布チョッキン」

例年布チョッキンに参加いただいている企業や団体の中で、オンラインでの開催、在宅での活動などを継続していただいたところもあるが、全体としては減少した。プラスチック製の型紙を送って回収する方式を改め、ホームページから型紙をダウンロードして参加者が紙に印刷するなど、リモートで資材を提供できる方法を整備した。2021年度は作業のポイントを動画で視聴できるようにするなど、リモート参加の利便性向上を目指す。

3) カレンダー製作販売

カンボジアでの撮影が難しいことから2021年カレンダーの製作販売は見送ったが、例年通り購入申し込みを下さった方があり、2022年度カレンダーについては、過去に撮りためた写真の活用も検討する。

4. 織物販売

展示会や委託販売をサクラモヒラ（大宮）、藍染めカフェ（深谷）で行ったが、コロナ禍により来場者数が限られ、売り上げは伸びなかった。

5. ボランティア・インターンとの協力促進

- 1) 定例「ボランティアデー」は開催せず、お礼状書き、データ入力確認、ニュースレターのレイアウトや発送など、随時、ボランティアをお願いした。
- 2) 大学横断的な学生の社会貢献活動支援団体ドットジェイピーのソーシャルインターンシッププログラムを通じて、学生のインターン2名を受け入れた。

6. 管理

- 1) テレワーク制度を活かし、事務局運営は常勤1名、非常勤4名（前期）3名（後期）で行った。
- 2) 定例理事会を以下の日程で開催し、会の運営や事業の進捗状況確認、協議した：
4月25日（第96回）、7月28日（第97回）、10月27日（第98回）、1月26日（第99回）

2020年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

▶ 活動計算書（要約）

（自2020年4月1日 至2021年3月31日）		（単位：千円）		
科目	2019年度決算	2020年度決算	増減	2021年度予算
I 経常収支				
1 会費収入	1,383	1,703	320	1,700
2 寄付収入	19,107	17,555	△1,552	18,600
3 事業収入	4,505	1,249	△3,256	420
4 補助金収入	3,770	8,600	4,830	7,370
5 その他収入	313	△102	△415	0
経常収益計	29,078	29,005	△73	28,090
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費	6,721	6,169	△552	3,089
(2) その他経費	10,705	7,339	△3,366	12,559
事業費計	17,426	13,508	△3,918	15,648
2 管理費				
(1) 人件費	7,962	9,052	1,090	12,335
(2) その他経費	5,145	5,688	543	2,892
管理費計	13,107	14,740	1,633	15,227
経常費用計	30,533	28,248	△2,285	30,875
当期経常増減額	1,454	757	△697	△2,785
III 経常外収益				
1 その他収益	0	108	0	0
経常外収益計	0	108	108	0
IV 経常外費用				
1 固定資産除却損		1,565	1,565	
1 その他費用	70	70	0	0
経常外費用計	70	1,635	1,565	0
当期正味財産増減額	△1,524	△770	754	△2,785

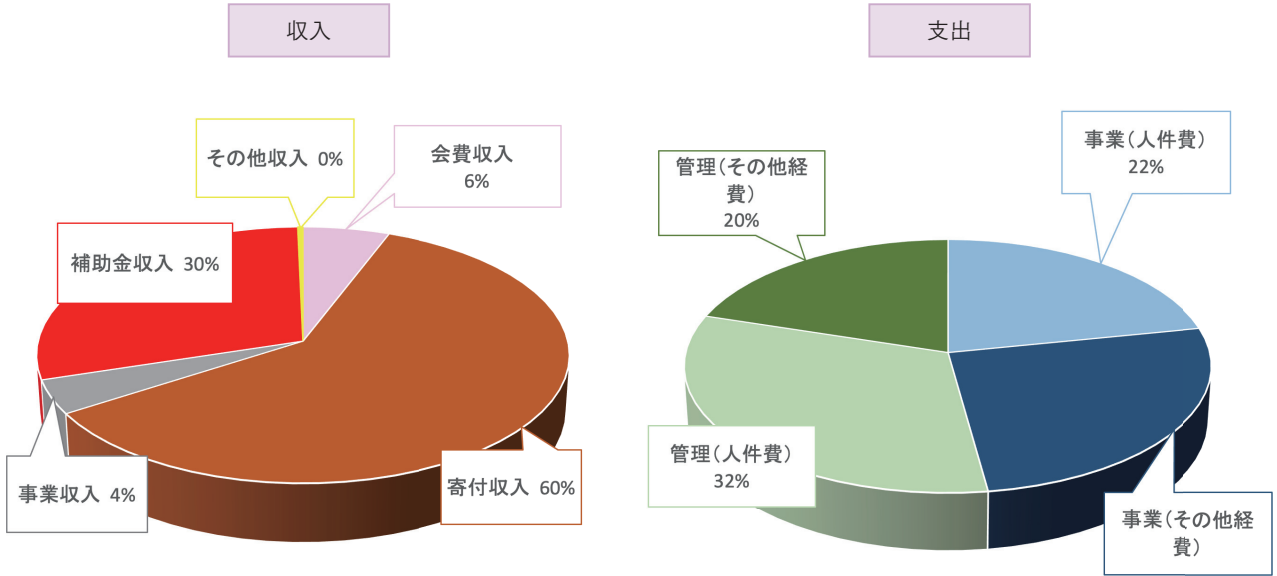
▶ 貸借対照表（要約）

2021年3月31日現在		（単位：千円）
科目	金額	
I 資産の部		
流動資産	36,382	
固定資産	217	
資産合計	36,599	
II 負債の部		
流動負債	1,079	
固定負債	4,114	
負債合計	5,193	
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	32,177	
当期正味財産増減額	770	
正味財産合計	31,407	
負債及び正味財産合計	36,599	

1. 寄付金収入は前年度程度を維持。大口寄付が4件あった。
2. 織物事業が6月に終了し、事業収入が減少した。
3. 東京、ブノンペン の両事務所の引越しに伴う一時的な費用が発生している。
4. 前年度比でみると、収入は微減、経費は事業経費が3,918千円減、管理経費が697千円減した一方、事務所移転に伴う固定資産除却損1,565千円により、収支は前年度比770千円のプラスとなった。

監 査 報 告 書	
2021年4月2日	
特定非営利活動法人幼い難民を考える会 代表理事 関口 晴美 様	監事 鈴木雅博
私は、特定非営利活動促進法18条の規定に基づき、特定非営利活動法人幼い難民を考える会の2020年度（令和2年度：2020年4月1日～2021年3月31日）の業務監査及び会計監査を実施した。	
業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会議事録を閲覧し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。	
会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問を行った。	
これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。	
ここに、私は、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2021年（令和3年）3月31日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。	
以 上	

▶ 2020 年度 収入・費用の内訳



▶ 2020 年度事業部門別 活動計算書

(自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日) (単位：千円)

科目	合計	カンボジア事業		国内事業		管理
		保育	織物販売	広報	織物販売	
I 経常収益						
会費収入	1,703	0	0	0	0	1,703
寄付収入	17,555	7,583	0	0	0	9,972
事業収入	1,249	0	232	0	1,018	0
補助金収入	8,601	6,179	0	0	0	2,422
その他収入	△ 102	0	0	0	0	△ 102
経常収益計	29,006	13,762	232	0	1,018	13,994
II 経常費用						
人件費計	15,221	5,694	287	714	540	7,986
その他の経費計	13,027	8,053	359	489	15	4,111
経常費用計	28,248	13,747	646	1,203	555	12,097
III 経常外収益						
雑収入	108	0	0	0	0	108
IV 特別損失						
固定資産除却損	△ 1,565	0	0	0	0	△ 1,565
当期正味財産増減額	769	15	△ 414	△ 1,203	463	440
前期繰越正味財産額	32,176	0	0	0	0	0
次期繰越正味財産額	31,407	0	0	0	0	0

▶ 2021 年度事業部門別 活動予算書

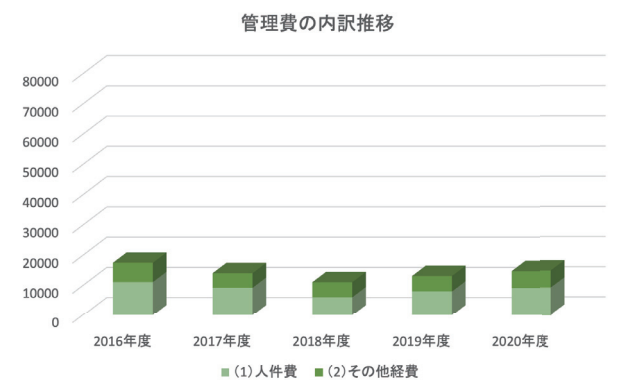
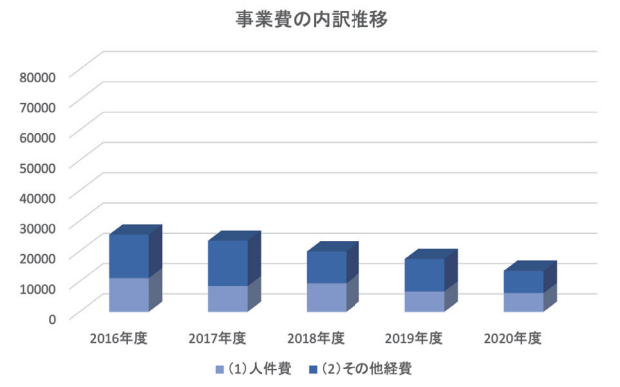
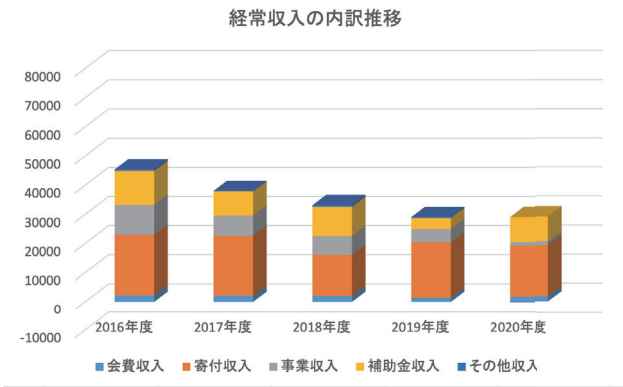
(自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日) (単位：千円)

科目	合計	カンボジア事業		国内事業		管理
		保育	組織基盤強化	広報・布チョッキン		
I 経常収益						
会費収入	1,700	0	0	900		1,700
寄付収入	18,600	6,050	3,750	0		7,900
事業収入	0	0	0	0		0
補助金収入	7,370	5,500	1,870	0		0
その他収入	420		0	400		20
経常収益計	28,090	11,550	5,620	1,300		9,620
II 経常費用						
人件費計	15,424	2,013	4,663	1,076		7,672
その他の経費計	15,451	10,306	957	2,253		1,935
経常費用計	30,875	12,319	5,620	3,329		9,607
当期経常増減額	△ 2,785	△ 769	0	△ 2,029		13
当期正味財産増減額	△ 2,785	△ 769	0	△ 2,029		13
前期繰越正味財産額	31,407	0	0	0		0
次期繰越正味財産額	28,622	0	0	0		0

▶ 活動収支年度別推移表

(単位：千円)

科目	2016 年度決算	2017 年度決算	2018 年度決算	2019 年度決算	2020 年度決算
I 経常収支					
1 会費収入	2,219	2,149	2,039	1,383	1,703
2 寄付収入	20,757	20,505	14,105	19,107	17,555
3 事業収入	10,319	6,906	6,436	4,505	1,249
4 補助金収入	11,654	8,337	10,014	3,770	8,601
5 その他収入	471	146	552	313	△ 102
経常収益計	45,420	38,043	33,146	29,078	29,006
II 経常費用					
1 事業費					
(1) 人件費	11,095	8,468	9,378	6,720	6,169
(2) その他経費	14,392	14,995	10,514	10,704	7,339
事業費計	25,487	23,463	19,893	17,425	13,508
2 管理費					
(1) 人件費	11,087	9,193	6,037	7,962	9,052
(2) その他経費	6,399	4,849	5,014	5,144	5,688
管理費計	17,487	14,042	11,052	13,107	14,740
経常費用計	42,974	37,505	30,945	30,533	28,248
当期経常増減額	2,446	537	2,201	△ 1,454	757
III 経常外収益	△ 70	△ 70	△ 70	△ 70	△ 1,456
当期正味財産増減額	2,376	467	2,131	△ 1,454	△ 769
前期繰越正味財産額	28,726	31,103	31,570	33,701	32,176
次期繰越正味財産額	31,103	31,570	33,701	32,176	31,407



経常収入の内訳推移

企業・団体による「みんなで布チョッキン」活動が減少し、寄付収入が 155 万減少している。事業収入の減少は、織物事業の終了とカレンダー販売の見送りによる。

事業費の内訳推移

保育事業のうち、休園により補助給食費・旅費交通費・消耗品等が減少、織物事業を 6 月末で終了した結果、人件費・経費が減少している。

管理費の内訳推移

事務所移転に伴う処分料、寄附広告費、外注費の発生により人件費、経費共に増加した。

幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

2020 年度 補助金・助成金を通じてご支援いただいている企業・団体

・ アジア生協協力基金	-----	809,278 円
・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン厚木	-----	700,000 円
・ ILBS 国際福祉協会	-----	602,410 円
・ 全日本自治団体労働組合（自治労）福岡県本部	-----	1,400,000 円
・ 公益財団法人東京しごと財団	-----	422,000 円
・ 日本労働組合総連合会	-----	1,300,000 円
・ パナソニック株式会社	-----	2,000,000 円
・ 一般財団法人ゆうちょ財団	-----	890,661 円

（2020年4月1日～2021年3月31日入金分を記載しています）

2020 年度 寄付者（10 万円以上の団体、あいうえお順）

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ・ 株式会社一五不動産情報サービス | ・ キューピー株式会社 |
| ・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンかながわ | ・ 全国友の会 |
| ・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンたま | ・ 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 |
| ・ 幼い難民を考える会チャリティ・バザーグループ | ・ 株式会社 nexus |
| ・ かみひとねっとわーく京都事務局 | ・ 三菱商事株式会社 |
| ・ 公益財団法人かめのり | |

（2020年4月1日～2021年3月31日入金分を記載しています）

2020 年度 「布チョッキン募金」寄付者（10 万円以上の団体、あいうえお順）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ・ MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ | 実施協力団体 |
| ・ 株式会社ジェーシービー | ・ 公益財団法人フィランソロピー協会 |
| ・ ゴールドマン・サックス証券株式会社 | ・ ハンモックツリー |
| ・ 丸紅株式会社 | |

（2020年4月1日～2021年3月31日入金分を記載しています）

わたしたちの組織

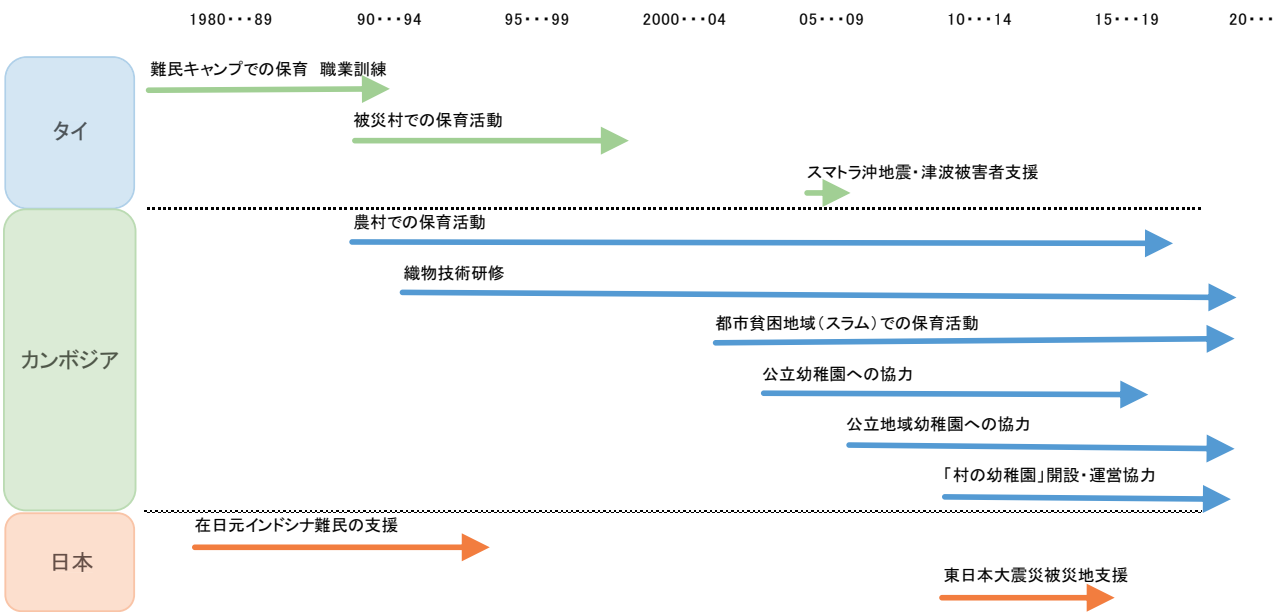
会員数・寄付者数・役員・職員

会員数							
内訳	2015 年 3 月末	2015 年 3 月末	2017 年 3 月末	2018 年 3 月末	2019 年 3 月末	2020 年 3 月末	2021 年 3 月末
個人	340	328	284	241	215	135	144
団体	8	9	9	7	8	7	6
学生	3	3	4	4	3	1	0
計	351	340	297	252	226	143	150

寄付者数							
	2015 年 3 月末	2016 年 3 月末	2017 年 3 月末	2018 年 3 月末	2019 年 3 月末	2020 年 3 月末	2021 年 3 月末
計	479	452	523	438	441	442	393
個人	370	357	445	348	379	370	328
団体	109	95	78	90	62	72	65

役員		職員	
2021 年 3 月末現在		2021 年 3 月 31 日現在	
代表理事	関口 晴美	東京事務局 ： 3 名（事務局長 片山 美紀）	
副代表理事	雨森 政恵	プノンペン事務所 ： 7 名（所長 チャン・スレイ）	
理事	草野 榮雅		
理事	藤川 祥子	2021 年 4 月 1 日現在	
理事	大垣 洋子	東京事務局 ： 3 名（事務局長 片山 美紀）	
監事	鈴木 雅博	プノンペン事務所 ： 7 名（所長 チャン・スレイ）	

活動履歴



幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から41年。
掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちがタイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会（CYR）の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から、子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしています。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



■ プノンペン事務所（2020年10月下旬に移転）

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III
#55, St. 05, Prey Sala Village, Sangkat Kakab,
Khan Posen Chey P.O Box 12,
Phnom Penh, 12406, Cambodia
Email: info@cyk.org.kh
URL: www.caringforyoungkhmer

■ 東京事務局（2020年8月同ビル内で移転）

〒110-0016
東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3B
TEL: 03-6803-2015
Email: info@cyr.or.jp
URL: http://www.cyr.or.jp

会費のお振込み、活動へのご支援は、こちらまでお願いいたします。
奨学生への支援、月いち募金参加者を募集しています。

郵便振替 00110 - 8 - 36227
三菱UFJ銀行 六本木支店（普通）1351747
特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

*CYRは、認定NPO法人です。ご寄付は、寄付金控除の対象となります。

2020年度年次報告書 2021

発行日：2021年6月 発行者：関口晴美

紙面レイアウト：松下旦